



# 進路だより

第11号 令和8年 2月 6日  
宮城県立石巻支援学校  
進路指導部発行

保護者の皆様には、本校の進路指導に関しまして日頃より御理解と御協力をいただきありがとうございます。中学部3年生も高等部への受検が終わり、各学部の卒業生はそれぞれ進路先へ進む準備を行っています。

さて、進路だよりでは、各学部の進路指導に関係の深い学習を紹介しています。進路指導との関連で「発達段階における育てたい力」につきましては、「進路の手引き」を御覧ください。

## 小学部5年生「校外学習に行こう」

冬休み直前に、徒歩でイオンモール石巻のマクドナルドへ行きました。当日は、これまで天候不良で2回延期になり、その度に楽しみにしていた予定が変わるという経験を乗り越えて迎えた、待ちに待った校外学習でした。事前に好きなメニューを選び、タッチパネルで注文して、買った物を自分の席まで運ぶ、初めての経験をしました。

事前学習でタッチパネルを押してみたり、トレイに見本を載せて運んだりする練習を繰り返し行ってきた成果を十分に発揮し、みんなでおいしく食べて帰ってくることができました。公共施設でのマナーをしっかりと守って、「また行きたい!」と思える思い出の1日になりました。



## 中学部3年生「高等部入学者選考」

1月16日に中学部3年生は高等部入学者選考に臨みました。生徒たちはこれまでの学校生活の中で、社会で生活していくために大事な「挨拶」と「返事」、そして「学習に臨む姿勢」「集団行動」など様々なことを勉強してきました。また受検に向けては、決められた時間内で落ち着いてテストに取り組むことや面談で質問に対して自分で考えて返答する等の学習にも取り組んできました。当日は、緊張感を持って受検に臨み、自分の力を発揮しました。合格発表では、自分の番号を一生懸命に探し、見つけたときは全身で喜びを表現していました。無事全員合格して、高等部への進学が決まりました。今後は中学部でのまとめをし、高等部の生活に向けて準備をしていきます。



## 高等部「作業製品バザー」

1月27、28、29日の3日間、本校体育館にて「作業製品バザー」が行われました。生徒たちは、この日を目標に日々の作業学習を頑張ってきました。保護者の皆様、放課後等デイサービスを含めた地域の方々、そして小・中学部の児童・生徒の皆さんにお越しいただき、大盛況となりました。「買いに来たよ!」「上手だね!」など温かいお言葉をいただき、「作業学習をまた頑張ろう!」という励みになったようでした。生産から販売までの工程を通して体験することは、卒業後に社会人となる生徒たちにとって大きな学びとなりました。



## 【障害福祉サービスのまとめ】

これまでの進路だよりで卒業後、日中活動の場として利用する福祉サービスについてお知らせしてきました。その他のサービスも含めた一覧です。（厚生労働省ホームページより）

※ ㊦…障害者（18歳以上） ㊧…障害児（18歳未満）

## 障害福祉サービス等の体系（介護給付・訓練等給付）

サービス内容		
訪問系	介護給付	<b>居宅介護</b> ㊦ ㊧ 自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う
		<b>重度訪問介護</b> ㊦ 重度の肢体不自由者又は重度の知的障害若しくは精神障害により行動上著しい困難を有する者であつて常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援、入院時の支援等を総合的に行う（日常生活に生じる様々な介護の事態に対応するための見守り等の支援を含む。）
		<b>同行援護</b> ㊦ ㊧ 視覚障害により、移動に著しい困難を有する人が外出する時、必要な情報提供や介護を行う
		<b>行動援護</b> ㊦ ㊧ 自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う
		<b>重度障害者等包括支援</b> ㊦ ㊧ 介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的にを行う
日中活動系	介護給付	<b>短期入所</b> ㊦ ㊧ 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含めた施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う
		<b>療養介護</b> ㊦ 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行う
		<b>生活介護</b> ㊦ 常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する
		<b>施設入所支援</b> ㊦ 施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う
居住支援系	介護給付	<b>自立生活援助</b> ㊦ 一人暮らしに必要な理解力・生活力等を補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な支援を行う
		<b>共同生活援助</b> ㊦ 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談、入浴、排せつ、食事の介護、日常生活上の援助を行う
訓練系・就労系	訓練等給付	<b>自立訓練（機能訓練）</b> ㊦ 自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の維持、向上のために必要な訓練を行う
		<b>自立訓練（生活訓練）</b> ㊦ 自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の維持、向上のために必要な支援、訓練を行う
		<b>就労移行支援</b> ㊦ 一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う
		<b>就労継続支援（A型）</b> ㊦ 一般企業等での就労が困難な人に、雇用して就労の機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う
		<b>就労継続支援（B型）</b> ㊦ 一般企業等での就労が困難な人に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う
		<b>就労定着支援</b> ㊦ 一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行う

### 就労継続支援B型を利用するためには「就労選択支援」が必要

卒業後すぐに就労Bを希望する場合は在学中に「就労アセスメント」を受ける必要がありましたが、それが、「就労選択支援」に変わりました。（R7年10月1日より開始）ただし、今年度高等部3年生は該当しません。高等部2年生以下が該当となります。高等部2年生、1年生保護者の皆様には2月の面談で「就労選択支援」について説明します。他学年の保護者の方で詳しく知りたい場合は、進路指導部（青山・中鉢）までお問い合わせください。

## 未来へステップ！

「もうすぐ〇年生」「1年間をふりかえろう」「いよいよ卒業」等、1年間の振り返りやまとめをする学習が始まる季節が近づいています。今までの活動を振り返ったり、卒業生に感謝を伝えたりすることはもちろん、4月になったら進級・入学する見通しも感じられるような学習に取り組めます。

1年間の「楽しかった!」、「頑張った!」を大切にしながら、新学年に向けての「わくわく」も芽生えることで、来たる新しいステップに向けて少しずつ準備をしていきます。

